

Performance Scorecard Readmeリリース11.1.2.4.000

リリース 11.1.2.4.000

製作著作 © 2015

目次

目的	1
インストール情報	1
サポートされているプラットフォーム	1
サポートされている言語	2
サポートされているこのリリースへのパス	2
このリリースで修正された問題	3
既知の問題	4
ヒントとトラブルシューティング	5
ドキュメントの更新事項	5
ドキュメントのフィードバック	6
アクセシビリティの考慮事項	6

目的

このドキュメントには、このリリースのOracle Hyperion Performance Scorecardに関する重要な最新情報が記載されています。Oracle Hyperion Performance Scorecardをインストールする前にこのReadmeをよくお読みください。

インストール情報

Oracle Enterprise Performance Management System製品のインストールに関する最新情報は、*Oracle Enterprise Performance Management System* インストールおよび構成Readmeに記載されています。EPM System製品をインストールする前に、この情報をよく確認してください。

重要: リリース11.1.2.4.000では、Performance Scorecardのインストール・アセンブリはSoftware Delivery Cloudにポストされません。Oracle Supportに連絡してPerformance Scorecardのインストール・アセンブリをリクエストし、インストールと構成を行う前にインストール・アセンブリを抽出し、EPM SystemインストーラとEPM System構成の処理を開始します。

メンテナンス・インストールを実行するには、EPM Systemインストレーションおよび構成ガイドのEPM System製品のメンテナンス・インストールの実行に関する項を参照してください。

サポートされているプラットフォーム

EPM System製品のシステム要件およびサポートされているプラットフォームに関する情報は、*Oracle Enterprise Performance Management System*の動作保証マトリックスにスプレッドシート形式で提供されます。このマトリックス

は、Oracle Technology Network (OTN)の「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに掲載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされている言語

EPM System製品のサポートされている言語に関する情報は、Oracle Enterprise Performance Management Systemの動作保証マトリックスの「Translation Support」タブにスプレッドシート形式で提供されます。このマトリックスは、OTNの「Oracle Fusion Middleware Supported System Configurations」ページに掲載されています:

<http://www.oracle.com/technetwork/middleware/ias/downloads/fusion-certification-100350.html>

サポートされているこのリリースへのパス

EPM Systemは、次のリリースからリリース11.1.2.4にアップグレードできます:

注意: アップグレードの手順は、Oracle Enterprise Performance Management Systemインストールおよび構成ガイドのEPM System製品のアップグレードに関する項を参照してください。

表1 サポートされているこのリリースへのパス

アップグレード・パスのリリース: 元	リリース11.1.2.4へ
11.1.2.x	メンテナンス・リリースを適用して、リリース 11.1.2.4 に移行します。 注: Oracle Hyperion Financial Close Managementでは、リリース 11.1.2.2 または 11.1.2.3 からのみメンテナンス・リリースの適用がサポートされています。 Oracle Hyperion Financial Managementでは、リリース 11.1.2.1 、 11.1.2.2 または 11.1.2.3

アップグレード・パスのリリース: 元	リリース11.1.2.4へ
	からのみメンテナンス・リリースの適用がサポートされています。
11.1.1.4.x	リリース
	11.1.2.3
	にアップグレードしてから、メンテナンス・リリースを適用して、リリース
	11.1.2.4
	に移行します。
リリース	メンテナンス・リリースを適用して、リリース
11.1.1.0.x	11.1.1.4
から	に移行し、リリース
11.1.1.3.x	11.1.2.3
	にアップグレードしてから、メンテナンス・リリースを適用して、リリース
	11.1.2.4
	に移行します。

このリリースで修正された問題

この項には、リリース11.1.2.4.000で修正された問題が含まれます。以前のリリースで修正された不具合のリストを確認するには、Defects Fixed Finderを使用します。このツールを使用すると、所有している製品および現在の実装のリリースを識別できます。1回のクリックで、ツールは修正された不具合の説明とその関連プラットフォームおよびパッチ番号に関するカスタマイズされたレポートをすばやく生成します。このツールはこちらにあります:

<https://support.oracle.com/oip/faces/secure/km/DocumentDisplay.jspx?id=1292603.1>

- 19181547 - Internet Explorer 10 WebブラウザはHyperion Performance Scorecardでサポートされています。
- 18764234 - スコアカード・パフォーマンス・レポートおよびメジャー・パフォーマンス・レポートで、データの長さが対応する列幅を超える場合に、データ列が重なって表示されます。
- 18508190 - スコアカード表とレポート表での列の重なり。ブラウザ・ビューの次の領域は修正されています。
 - 「従業員」の「スコアカード」タブ(修正済列: 「メジャー」、「実績」および「目標」)
 - スコアカード・パフォーマンス・レポート(修正済列: 「スコアカード」)
 - メジャー・パフォーマンス・レポート(修正済列: 「メジャー」、「実績」および「目標」)
 - 従業員プロフィール・レポート(修正済列: 「従業員名」、「役職名」、「電子メール」、「部署」および「マネージャ」)
- 18063587 - 従業員の責任の「異動元」ダイアログが応答しません。
- 17961494 - 子ノードがスコアカード・パフォーマンス・レポートに表示されません。
- 17960614 - スコアカード・パフォーマンス・レポートのスクロール・バーを上下に動かすと、レポート表が縮小します。
- 17911125 - HPSアラートによってテキストのようにHTMLタグを含む電子メールが送信されます。
- 17872317 - 「ユーザー・アカウントを従業員と同期」では、欠落している従業員は検出されません。

- 17852362 - アラートを編集するときに継承オプションを削除できません。
- 17536567- 受信確認オプションを適用できるのは、「基準に一致」または「範囲内」再アラート・オプションのみです。
- 17476674 - 管理者またはデザイナーのセキュリティ・ロールがない基本ユーザーが、パブリック・アラートに登録できません。
- 17470015 - 管理者またはデザイナーのセキュリティ・ロールがない基本ユーザーが、ステータスベース・アラートを作成できません。
- 17464737 - 範囲外に出た後、または基準に一致しなくなった後は、再アラートが機能しません。範囲外に出た後または基準が一致しなくなった後で、「範囲内だが、異なる値」または「基準に一致するが、異なる値」再アラート・オプションを使用しても機能しないとき、値が再び範囲内に入った場合または基準を満たすようになった場合に、再アラートによってNULLポインタ例外が生成されます。
- 17361348 - 戦略マップ・スコアカードの「スコアカード」タブを含むユーザー・インタフェースに問題があります。スコアカードの「スコアカード」タブを複合ビュー・モードで表示するときに、ディバイダ・スプリッタの移動すなわちウィンドウのサイズ変更を行うと、「スコアカード」表が縮小し続けます。
- 17361315 - 戦略マップ・スコアカードの「トレンド表」タブを含むユーザー・インタフェースに問題があります。複合ビュー・モードの「スコアカード」タブから「トレンド表」タブを表示するとき、「トレンド表」タブが複合ビュー・モードになってはいけません。
- 17347587 - 「ステータスのメジャー(記号)」、「ステータスのイニシアチブ(テキスト)」、範囲内のイニシアチブ(%)および「範囲内のメジャー実績」に関して、再アラートが正しく機能しません。
- 17334970 - 「チャート」タブを複合ビュー・モードの「スコアカード」タブから表示する場合、戦略マップ・スコアカードの「チャート」タブを含むユーザー・インタフェースに問題があります。「チャート」タブは複合ビュー・モードに対応していません。また、「チャート」タブを直接表示する場合、チャート・ウィンドウのサイズが適切に表示されません。
- 17301958 - 従業員情報を入力する際に、連絡先の電子メール情報の@記号を入力できません。コピー・アンド・ペーストのみ使用できます。
- 17301936 - HPSブラウザでは、ドメインでグループ化を選択するとメジャーの表示が順序付けられません。「グループなし」を選択すると、メジャーが順序付けられて表示されます。
- 17281180 - 従業員情報を編集してから保存しようとする、サーバーが応答しなくなります。1人の従業員が数千の責任(注釈作成者、実績収集者、目標設定者など)を持つ場合、保存プロセスに非常に長い時間がかかり、サーバーが応答できなくなります。さらに、その従業員に複雑なカスケード・スコアカード・アイテム(たとえば、カスケード・スコアカード、複合メジャーなど)がある場合、循環式参照チェックに長い時間がかかります。

この修正により、責任の処理が最適化されています。また、HPSConfig.propertiesに hyperion.hps.formula_check_enabled=falseというエントリを追加して、循環チェックを無効にすることができます。

このエントリを反映するようにHPSWebReportsサーバーを再起動してください。

- 16996281 - Shared Servicesのネイティブ・グループが同じ名前で作成されると、そのグループを介した間接的なユーザー・プロビジョニングに問題が発生します。

コードが変更され、ユーザー/グループの削除、同一名での再作成、名前の変更、およびユーザー・ディレクトリが異なる同一ユーザー・アカウント名の処理に適切に対応できるようになりました。現在、セキュリティの割当てページには、ユーザー/グループ名とそのディレクトリ名が表示されます(例: user1@msad, user1@native)。

- 16459702- 左側のペインを下にスクロールしてから、そのペインをクリックすると、ページがスクロールして一番上に戻ります。

既知の問題

このリリースで注意が必要な既知の問題は次のとおりです。

- 14142422 - 複数値ターゲットを使用している場合、表示されるレポートにアライメントの問題がある場合があります。

- 10399027 - プリファレンス設定の変更が原因で、メジャー・パフォーマンスのエクスポートのオプションを実行できません。
- 9665927 - ナビゲーション・ツリーで、左側の選択ペインにマップ要素をドラッグすると、戦略マップ・ツリーからマップ要素が削除されます。
- 7171918 - メジャー・テンプレートを評価するパフォーマンス・インディケータの範囲を定義する式にはequal操作を使用できません。
- 6956515 - デイメンション名にはヘブライ文字を使用できません。そうした場合は、Essbaseデータベースの作成に使用されるスター・スキーマを生成できなくなります。
- 11804670 - Performance ScorecardのコンテンツをWORKSPACEに追加できません。
- 9073159 - モデル・セキュリティおよびアプリケーション・モデル内のアーティファクトを検索できません。
- 7650524 - Oracle Hyperion Shared Servicesでグループに割り当てられたユーザーは、指定したとおりに電子メールを受信できない場合があります。これを回避するには、グループを介して間接的にユーザーをプロビジョニングしないでください。

ヒントとトラブルシューティング

- Performance Scorecardで作成されたカスタム・セキュリティの役割をShared Servicesの多数のユーザーに適用するには、Shared Servicesでユーザーを作成した後、Performance Scorecardで「Shared Servicesとの同期」オプションを選択してセキュリティの役割と従業員レコードをそれらのユーザーに自動的に割り当てます。
- AlerterをWebアプリケーション・サーバー・クラスタにデプロイするには、Alerterのインスタンスを1つ使用して電子メール通知の繰返しや不要な電子メール通知を避けます。
- データベース、デイメンション、メンバー、別名またはデイメンション・メジャー・テンプレートに名前を付けるときは、制限された名前や文字を使用しないでください。不正な名前と文字のリストについては、『Oracle Hyperion Performance Scorecard, Fusion Editionリリース11.1.2.0.00管理者ガイド』を参照してください。
- アプリケーション・サーバーをアンインストールまたは更新する前に、イニシアチブのすべての添付ファイル、従業員プロファイルおよびノートに加えて、ステータス記号をバックアップしてください。『Oracle Hyperion Performance Scorecard, Fusion Editionリリース11.1.2.0.00管理者ガイド』を参照してください。
- 戦略ツリー、責任マップおよび因果関係マップを作成する前に、アプリケーション・フレームワークを指定してください。これにより、デフォルト・マップ要素階層および順序が判別されます。
- メジャーまたはスコアカード範囲が添付されているパフォーマンス・インディケータを削除しないでください。
- 同じコンピュータで複数のブラウザ・セッションを同時に開かないでください。
- データを失わないように、「保存」をクリックしてからすべてのページを終了してください。

ドキュメントの更新事項

EPM System製品ドキュメントへのアクセス

Oracle Help Center (<https://docs.oracle.com/en/>)で最新のEPM System製品ガイドを検索します。表示またはダウンロードするドキュメントにアクセスするには、「Applications」アイコンをクリックします。「Applications Documentation」ウィンドウで「EPM」タブを選択し、「Enterprise Performance Management」リンクをクリックします。

また、Oracle Technology Network (<http://www.oracle.com/technetwork/index.html>)およびOracle Software Delivery Cloud Webサイト(http://edelivery.oracle.com/EPD/WelcomePage/get_form)でデプロイメント関連のドキュメントを検索することもできます。または、EPM Systemのドキュメント・ポータル(<http://www.oracle.com/us/solutions/ent-performance->

bi/technical-information-147174.html)にアクセスできます。ここでは、My Oracle SupportやEPM Supported Platform Matricesなどへのリンクがあります。

Internet Explorerのオンライン・ヘルプ

Internet Explorer 9を使用する場合、一部の表とテキストがオンライン・ヘルプに誤って表示されることがあります。

PDFからのコード・スニペットのコピーと貼付け

PDFファイルからコード・スニペットを切り取って貼り付ける際、貼付け操作時に一部の文字が失われる場合があります、これによりコード・スニペットが無効になります。回避策: コード・スニペットをHTMLバージョンのドキュメントから切り取って貼り付けます。

ドキュメントのフィードバック

製品のドキュメントに対するフィードバックは次の電子メール・アドレスに送信してください。

EPMdoc_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトのEPM情報開発をフォローしてください:

- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>
- Google+ - <https://plus.google.com/106915048672979407731>
- ツイッター - <https://twitter.com/HyperionEPMInfo>
- Facebook - <https://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>
- LinkedIn - http://www.linkedin.com/groups?home=&gid=3127051&trk=anet_ug_hm

アクセシビリティの考慮事項

オラクル社では、障害のあるお客様にもオラクル社の製品、サービスおよびサポート・ドキュメントをご利用いただけることを目標としています。EPM System製品は、製品のアクセシビリティ・ガイドに記載されているアクセシビリティの機能をサポートします。このガイドの最新版は、Oracle Technology NetworkのOracle Enterprise Performance Management System Documentation Library(<http://www.oracle.com/technology/documentation/epm.html>)にあります。

また、このReadmeファイルはHTML形式で提供され、アクセシビリティ機能がサポートされます。

著作権情報

Oracle® Hyperion Performance Scorecard Readme,
Copyright © 2015, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS:

Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

